



# ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2009年（平成21年）4月25日号 No. 1461

## 目次

■2008年のCIS諸国の経済（下）	1
■トピックス	10
マテハン機器のキトーがモスクワ見本市に出展／10	
三菱自動車がロシア向け輸出を再開／10	
■エトセトラ	11
『調査月報』2009年5月号のご案内／11	

## 2008年のCIS諸国の経済（下）

### はじめに

前回に引き続き、CIS統計委員会および各国統計局発表のデータにもとづき、同諸国の最新の経済情勢についてのレビューを行う。

前回は、全12カ国の主要経済指標を表にまとめて掲載するとともに、CIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説をお届けした。今号では中央アジア諸国（カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン）および南コーカサス諸国（アゼルバイジャン、アルメニア、グルジア）を扱う。

### カザフスタン：石油景気の終焉と強まる国家管理・規制

中央アジア諸国のなかで、世界金融・経済危機の最も深刻な影響を受けたのはカザフスタンであろう。2007年後半以降、米国サブプライムローン問題による国際的な信用収縮が広がり、この数年、石油とともにカザフ経済の成長を担ってきた建設・不動産・金融部門に混乱と停滞が生じた。商業銀行が抱える巨額の対外債務、さらに2008年後半以降は資源需要の低迷と国際石油価格の下落が追い討ちをかけ、同年のGDP成長率は年初予測の5%を下回る3.2%と一気に減速した。